今場所は美空富士以上の安定感で優勝戦線の先頭を引っ張る大関春ノ翔、全勝で迎えた八日目は2敗を守る烏帽子岳と対戦。立ち合いからの鋭い出足で正面土俵に押し込むも互いに引き合って同体で取り直しに。取り直しとなった一番では立ち会いから厳しい当たりで胸を合わせてのど輪を差し込み、烏帽子岳には無抵抗のまま一気に押し倒して8連勝を決めた。

春ノ翔○（押し倒し）●烏帽子

続く九日目は新進気鋭の怪物千代鈴との一番。全勝同士の対戦とあって呼び出しの声に両者が土俵に上がると館内のボルテージは最高潮に達するはずが、声援自粛のため、淡々と立ち上った。

左に回り込む千代鈴の右をかわしのど輪を差し込んだ大関が、千代鈴には何もさせず正面土俵に押し出して格の違いを見せ九連勝を決めた。部屋頭の美空富士が連敗を喫するなか単独トップに立った春ノ翔、だが何が起こるのかわからないのが紙相撲の本場所、残りの二番に注目が集まる。

千代鈴●（寄り切り）○春ノ翔

新入幕の今場所で全勝を守り堂々の七連勝で優勝戦線を賑わす千代鈴、八日目は三役初挑戦でいきなり大関の魁電と対戦。令和の怪物が大関相手にどんな相撲を見せるのかと大注目となった一番。立ち会いの厳しい当たりを受けるも右の押っつけで応戦、更に魁電が左へ回り込むところを素早い反応で引き落として沈め8連勝を決めた。

千代鈴○（引き落し）●魁　電

続く九日目にも春ノ翔との対戦で連日の大関挑戦となった。平幕とはいえ大関との全勝対決とあって昨日に引き続き大注目の一番は、互いに右を押っつけ合う展開だったが、左へ回り込んだ千代鈴が右をかわされ大関ののど輪で押し込まれ抵抗できないまま土俵を割った。

千代鈴●（寄り切り）○春ノ翔

この一番で幕内での初黒星を喫し、これでデビュー以来各段で一敗を喫し通算の負け数が三つになった。全勝中も優勝は全く意識してないとの事だが、まだ逆転優勝の可能性もあり残り二番の土俵にも期待がかかる、果たして結果やいかに。

その後を追うのが今場所の星数と相撲内容よって大関昇進の可能性のある佐賀ノ海に、前頭四枚目で三役を狙う四季嶋、幕尻ながら健闘を見せる綱嵐、十日目の結果次第だが2敗の力士にもまだ優勝の可能性が残されている。

佐賀海○（押し出し）●月　山

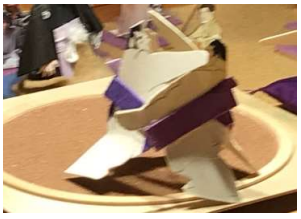
終盤に入り九日目までを取り終えて、全勝力士は大関春ノ翔ただひとりとなりそのあとを一敗で平幕の千代鈴が、二敗で横綱美空富士、関脇佐賀ノ海、平幕の四季嶋、綱嵐が追う展開と変わり十日目と千秋楽を迎える今場所。残すところ二日となり優勝争いはこの六名に絞られ、十日目に千代鈴が敗れ春ノ翔が勝利するとその瞬間優勝が決まる。

四季嶋○（寄り切り）●若　巨

十両は四つ巴

コロナウィルスによる緊急事態宣言の影響があって変則開催となった十両は十日目を開催。但し、幕内の十日目は次回予定のため、幕内で取る鹿富士、龍不動、太刀鳳がまだ相撲を取っていない状態となっている。従って、暫定ではあるが十日目を終わった時点で、優勝争いは日向藤、春雷、西安、雪若丸の4人が3敗で並んだ。

千秋楽に日向藤と雪若丸の対戦が組まれていることから、優勝争いはこの4人に絞られた。優勝決定戦にもつれ込んだ場合は最高で3人による巴戦の可能性もある。果たして勝利の女神は誰に微笑むのか？全勝優勝を狙う者、大関昇進のかかる者、また虎視眈々と逆転優勝を狙う者、三役を狙う力士など楽しみ満載で迎える今場所の最終開催日は三週間後の6月28日に開催予定だ。



綱　嵐○（寄り切り）●富士花

いよいよ次開催は雌雄を決する十日目に千秋楽、否が応でも守る上がる事は必至！果たして勝利の女神は誰に微笑むのか？全国の紙相撲ファンの皆さん土俵上の熱戦に乞うご期待！

（香具山）

九日目まで2敗で優勝争いの先頭にたっていた十両尻の西安、雪若丸は、十日目に九十九部屋の日向藤、喜乃郷にともに敗れて3敗に後退して、優勝争いは日向藤、春雷を含めた4人による千秋楽決戦となった。

幕下はすでに春日根部屋の西勢ノ里が5戦全勝での優勝を決めており、十両は西安、さらに幕内は千代鈴に優勝の可能性があり、春日根部屋の幕内、十両、幕下の3段制覇なるかも注目の的となって来た。

また、入幕争いでは、播磨屋部屋の龍不動が勝ち越しを賭ける相撲で八日目、九日目と連敗しており、残り2日に勝ち越しと悲願の新入幕を賭ける相撲に臨むことになる。

東筆頭の鹿富士は勝ち越せば再入幕という地位で四日目から6連敗して負け越しが決まった。名門鹿賀乃戸部屋の部屋頭として来場所は捲土重来を期して臨む場所となる。

（錦風）

春　雷○（寄り切り）●葵　盛

喜乃郷○（寄り切り）●雪若丸

日向藤○（引き落し）●西　安